

◆行財政改革の推進に対する 職員の取り組みについて



森嶋和明 議員

職員の取り組みはいかに

Q 地方は地方、地域は地域、地方の力で安全、安心、活力のある自治体づくり

を必要とする時代となった。アイデア、テーマの提言、取り組み姿勢、手法等の推進は、今こそ「民間を見習え」が叫ばれ、取り組みが急務である。改善改革の手法は「トヨタを見習え」とも言われている。今日までの改革改善に対する職員の取り組みはどうであったか。今後、どうあるべきか。

A 行革の推進は常に実施している。特に平成12年の総合計画の策定では、まちづくりの重点分野、重点施策への提言、行政の活性化の提言などの職員の意見を反映させてきた。

最近では出前講座やワークショップ、総合型スポーツクラブなど多くの提言を実施している。最近ではこれも提案いただいたが、福島

県矢祭町の取り組みを参考にして課長以上の職員の提言、提案を出させている。最近の決裁文書には今までは見られなかった取り組みに対する意識の改革が表れてきた。その結果の検証もシステム化して進めたい。

今年度参加した「トヨタ方式」についての研修も継続していく。特に管理職自身が自分の仕事の改革を進めながら部下の指導育成を進める管理職のマネジメント活動が大切であることを認識して日々が改善であり、滞ることのないよう心がけ、これからの行財政改革に取り組んでいく。



気分も一新、制服から私服に変えています